

令和6年度 シラバス

教科	理科	科目	科学と人間生活	学年	第2学年	学科 科 型	商業科
単位数	2単位	教科書	科学と人間生活（東京書籍）				
副教材	ニューサポート 新課程 科学と人間生活（東京書籍）						

学習目標	自然と人間生活との関り及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解します。そして、科学に対する興味・関心を高め、身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活との関わりについて理解を深めます。
------	---

キャリア教育の視点	科学への興味・関心を高めるため、身近な事象・現象に関する観察・実験を行う中で、科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養います。そして、科学技術の在り方について自らの考えを持ち、他者の意見を尊重する態度を養います。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	1編 生命の科学 1章 生物と光	光の波長と光合成速度との関係について理解し、光合成色素の働きや、植物が、光に対して一定の方向へ屈曲したり、昼夜の長さに応じて花芽を形成したりすることを学びます。 様々な微生物の存在に興味・関心を持ち、微生物の働きによって、様々な発酵食品が作られることを学びます。	期末考査
	5月	2章 微生物とその利用		
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	金属やプラスチックの特徴や用途について理解します。資源の再利用について関心を持ち、循環型社会を目指す必要性と3Rについて理解します。 光の性質について学び、反射・屈折・回折・干渉などの現象を理解します。電磁波の利用とその性質について、赤外線や紫外線、X線の性質と利用について学びます。 エネルギーの性質に興味を持ち、電子レンジの原理や化学カイロの仕組み、エアコンや冷蔵庫などのヒートポンプの原理について学びます。	中間考査 期末考査
	9月	2章 衣料と食品		
	10月	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用		
	11月	2章 熱の性質とその利用		
	12月			
3 学 期	1月	4編 宇宙や地球の科学 1章 身近な天体と太陽系における地球	惑星の動きと太陽系の構造の関係を理解し、地球が、生命の発生や生存に適した環境を持っていることを学びます。 私たちを取り巻く自然環境の成り立ちに興味を持ち、自然災害と人間生活について学びます。災害から命や社会を守るための対策について自ら考えます。	学年末考査
	2月	2章 身近な自然景観と自然災害		
	3月			

学習方法	授業で教科書の内容を理解し、その後実験や実習を行うことによって、自分の身の回りにある科学について意識して生活してください。エネルギーや自然災害など、現代の諸問題についても自分の考えを持って生活できるように過ごしてください。授業の後にしっかりと復習し知識を定着させて定期考査につなげてください。
------	--

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートに記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	--

備考	
----	--